

10月供給の農産物の「放射能測定結果」をお知らせします！

～「さつまいも」「里芋」「ねぎ」については「不検出」です！～

毎週の『ひまわり』と共に、放射能汚染に立ち向かう私たちと各ローカル生産者の姿勢や考えなど随時お伝えしています。国の定めた「暫定規制値」は米・野菜で“(セシウム)500ベクレル/kg以下”ですが、チェルノブイリ原発事故によって「内部被曝」を避けるため厳しい規制値を設けたウクライナの規制値同様、私たちはその10分の1以下、さらには放射能「不検出」を目指し、生産者と共に努力してまいります。

各生産者によって検査機関は異なりますが、ゲルマニウム半導体検出器によって「出荷段階」で明らかになった10月供給の農産物の放射性物質検査の測定結果(数値)について、引き続き以下の通りお知らせし、供給してまいります。

単位：ベクレル/kg (検出限界：10ベクレル/kg)

商品(対象試料)	生産者名	産地(場所)	採取日時	測定結果			
				ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	合算値
さつまいも	堀越一仁	成田市 (露地栽培)	9月20日	検出せず	検出せず	検出せず	—
里芋	堀越一仁	成田市 (露地栽培)	9月20日	検出せず	検出せず	検出せず	—
ねぎ	おおもとG	三春町 (露地栽培)	9月20日	検出せず	検出せず	検出せず	—

※今回の「不検出」の結果とその理由について、幸い各産地の環境放射線量、及び土壌汚染の数値も低く、作物だけでなく使用している堆肥も放射性物質の検査を行ない、それらの数値結果(不検出)を確認の上栽培してきました。

※尚、『地元のねぎ』について以前は「土付き(泥付き)」の形でのご案内していましたが、今季は全て「洗い」の形でのご案内しています。

※10月以前より供給している『各種トマト』(須賀川市・岡部洋一)、『きゅうり』(須賀川市・森文男)、『小松菜』、『みず菜』(須賀川市・柳沼孝政)、『じゃがいも』、『かぼちゃ』(三春町・おおもとG)、『野菜セット・愛菜箱』(福島県愛農会)は、今後も全て「不検出」のものです。

～「須賀川の舞茸」(=元「やまでらまいたけ」)の事業所閉鎖について～

先日「福島県きのこ振興センター」より、10月20日をもって「須賀川の舞茸」事業所を閉鎖せざるをえないとの連絡がありました。

現在、「須賀川の舞茸」に限らず、原発事故以降、放射能汚染による「出荷制限」など、県内のきのこ産業全体が大きな危機に直面しています。

そもそも「きのこ振興センター」の役割は「人材育成」を中心とした県内きのこ産業の振興そのものにありますが、教育事業の面でも「後継者(研修生)がいない」というのが実態でした。

「地元の舞茸」は、昨年末に引退された「山寺さん」のこだわりの栽培方法によって、ローカル商品の中でも人気商品の一つであり、長い目で見れば、これからの「後継者」ともって“顔の見える関係”を新たに構築していこうと考えていただければ、大変残念な事態であると考えます。

※ 尚、8月時点で舞茸からセシウムが「33ベクレル検出」され、舞茸は一時「供給中止」としていました。

これはその数値結果に問題があったためではなく、「不検出」に向けた努力・姿勢という点で、生産者にもう一步頑張ってもらいたいという意味を込めて一定期間「中止」としたものです。

しかし、直前まで供給していたものが中止となったために、組合員の皆さんから「不安になった」とのご指摘が寄せられました。説明不十分につき、誠に申し訳ございませんでした。

生活協同組合あいコープふくしま

「地元の新米」の「放射能測定結果」をお知らせします！

～「ひとめぼれ」(生産者：大河原正信)は検出限界「1Bq/kg」で

測定の上、「玄米」「白米」共に「不検出」です！～

私たちは各生産者と共に汚染に立ち向かい、とりわけ毎日口にするお米については、放射性物質の測定も「検出限界」(通常の「10Bq/kg以下」ではなく)より厳しく設定し(核種「1Bq/kg以下」に設定)、その上での「不検出」を目指してまいりました。

その結果、10月4日よりご案内の「地元の新米＝ひとめぼれ」(生産者：大河原正信)について、以下の通り「不検出」の測定結果をお知らせしますので、「玄米」「白米」共に安心して購入・お召し上がりいただけたらと考えています。

1 試料の名称等

件名	放射能分析
測定項目	ゲルマニウム半導体γ線スペクトロメトリーによる <sup>131</sup> I、 <sup>134</sup> Cs及び <sup>137</sup> Csの測定
試料名	玄米(ひとめぼれ)
試料採取場所	須賀川市 大河原正信
試料採取日	平成23年 9月 28日
測定日	平成23年 10月 1日
特記事項	特になし

2 測定結果

上記試料について測定した結果は以下のとおりです。

核種	結果	検出下限
ヨウ素-131	不検出	0.92 Bq/kg
セシウム-134	不検出	0.87 Bq/kg
セシウム-137	不検出	0.80 Bq/kg

1 試料の名称等

件名	放射能分析
測定項目	ゲルマニウム半導体γ線スペクトロメトリーによる <sup>131</sup> I、 <sup>134</sup> Cs及び <sup>137</sup> Csの測定
試料名	白米(ひとめぼれ)
試料採取場所	須賀川市 大河原正信
試料採取日	平成23年 9月 28日
測定日	平成23年 10月 1日
特記事項	特になし

2 測定結果

上記試料について測定した結果は以下のとおりです。

核種	結果	検出下限
ヨウ素-131	不検出	0.66 Bq/kg
セシウム-134	不検出	0.79 Bq/kg
セシウム-137	不検出	0.77 Bq/kg

注1) 結果については、指定なき場合減衰補正を行わない結果である。

注2) 測定機器:ゲルマニウム半導体検出器 ORTEC 社製 GEM 20-70